

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人 千葉県文化振興財団	県所管課	環境生活部 県民生活・文化課
代表者	理事長 信太 康宏	電話	043-223-2406
所在地	千葉市中央区市場町11番2号		
電話	043-222-0077		
設立年月日	昭和61年3月26日		
ホームページ アドレス	http://www.cbs.or.jp		
事業内容	1 文化芸術の創造、振興及び鑑賞普及事業 2 文化芸術活動の支援及び人材の育成事業 3 文化芸術資源の調査研究及び活用事業 4 文化芸術情報の収集及び発信事業 5 文化芸術振興のための国内外との交流事業 6 文化芸術拠点施設の管理運営事業 7 その他、この法人の公益目的を達成するために必要な事業		

1 出資等の状況(R3.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	574,074
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	300,000	52.3%	1	
千葉県内市町村	105,000	18.3%	2	
(株)京葉銀行	52,000	9.1%	3	
(株)太陽堂印刷所	12,000	2.1%	4	
個人A	10,000	1.7%	5	
(株)千葉銀行	6,000	1.0%	6	
ノザキ建工(株)	5,000	0.9%	7	
千葉トヨタグループ	5,000	0.9%	7	
千葉県文化会館	4,000	0.7%	9	
第6回国民文化祭千葉実行委員会ほか	75,074	13.1%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R3.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資産	1,016,934	987,114	979,045
負債	344,267	317,611	327,041
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	672,667	669,503	652,004
累積損益(利益剰余金)	98,593	92,914	73,321

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	650,548	599,549	513,310
経常損益	8,148	-5,058	-21,673
当期損益	7,811	-5,679	-19,593
減価償却前当期損益	7,969	-4,875	-18,414

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
借入金残高	0	0	0
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	0	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 純資産 正味財産合計

利益剰余金 一般正味財産

損益計算書 損益計算書 正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益 当期経常増減額

当期損益 当期一般正味財産増減額

累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料	県立文化会館管理運営等	362,806	362,418	395,809
補助金・交付金・負担金	人件費、文化事業補助	40,252	38,281	44,934
合計		403,058	400,699	440,743

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの		0	0	0
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料のうち再委託したもの	警備、清掃、機械設備運転保守業務	126,399	126,835	126,850
再委託のうち入札によるもの	一般廃棄物処理業務	1,646	1,787	1,486
再委託のうち随意契約によるもの	警備、清掃、機械設備運転保守業務	124,753	125,048	125,364

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	27	26	29
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	0	0	0

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	1人(1人)	1人(1人)
役員平均年齢	*歳	*歳	*歳
平均年収(千円)	*千円	*千円	*千円
職員数(県派遣又は県OB)	27人(0人)	26人(人)	29人(人)
職員平均年齢	46.0歳	47.4歳	46.0歳
平均年収(千円)	6,327千円	6,281千円	6,017千円

対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

役職員数は実人員を記入してください。

平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

役職員数は実人員を記入してください。

令和3年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

令和3年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	県と連携した経営改善
改革方針(概要)	民間補助金の更なる活用、指定管理業務の拡大及び徹底した経費の見直し等により、安定した自主事業の展開が図られ、県文化の振興に還元できるよう自立した経営環境を目指す。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国や各種助成団体から文化芸術振興に係る助成金を獲得した。(令和2年度:16,321千円) ・文化プログラムの展開を図るため、千葉県の企画提案に応募し「千葉・県民音楽祭」を新たに3か年受託し、県の施策の推進に取り組んだ。(新型コロナウイルスの影響により4か年事業となった。) ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、主催事業を「東京2020参画プログラム」の認証事業として申請し、大会の機運醸成に努めた。(令和2年度:公認文化オリンピック＝3事業、応援文化オリンピック＝10事業、beyond2020プログラム＝17事業) ・新型コロナの影響により、興行の中止や延期により発生したホールの空き時間を活用し、県内で活動するアーティストに対してリハーサル会場として無料提供したほか、夏休み期間を活用し、少人数による「文化会館探検ツアー」を実施した。(令和2年度:会場提供＝2施設4日間延べ45名、探検ツアー＝2施設9日間21名) ・財団公式YouTubeチャンネルを開設し、主催事業等の様子を配信した。(令和2年度:11事業) ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策に万全を期すなど、安全で安心した快適な空間の提供に努めるとともに、県民に質の高いサービスの提供や利便性の向上に取り組んだ。千葉県文化会館において取り組んでいるバス会社と連携した千葉駅までの直通臨時バスは、令和2年度11回運行した。 ・事務経費の節減やエネルギー使用量の節約に努めるとともに、オンライン会議を導入し、資料のペーパーレス化や出張旅費の節減を図った。 ・職員一人ひとりの資質向上と組織の活性化を図るため、アートマネジメント・舞台技術やコンプライアンスに関する各種研修会等に参加し、職員の人材育成に努めた。(令和2年度:27項目延べ153名参加) ・令和3年度から始まる第4期指定管理について、役職員一丸となって管理施設の獲得に取り組んだ結果、県立文化会館全4施設の指定管理者として指定を受けた。
その他(特記事項等)	平成25年度に人事評価制度を導入し、経営に即した給与形態を導入している。

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。